

2007年7月31日

WANO（World Association of Nuclear Operators）東京センターの活動状況について

世界原子力発電事業者協会（WANO） 東京センター事務局長 庄司 卓

1. 業務概要

世界原子力発電事業者協会はチェルノブイリ事故を契機に1989年5月に設立された原子力発電事業者の国際組織で、世界の原子力発電所を結ぶネットワークを構築するために組織された。現在、世界の全ての商業用原子力発電所が加盟している。

WANOの使命は、会員相互間で情報交換し、コミュニケーションを図り、比較し、他の良いところを習うことにより原子力発電所の安全性と信頼性を最高水準に高めること。

設立以来WANOは、事象報告、ピア・レビュー、ワークショップ・セミナー、交換訪問、運転指標等のプログラムを通じて着実に成果を上げてきた。WANO東京センターはアトランタ、モスクワ、パリにある他の三つの地域センター及びロンドンの調整センターと共にこれらのプログラムを積極的に実施。

アジアでは原子力開発はさらに進むと考えられる。WANO東京センターは政治問題に束縛されることなく自由で自発的な民間機関として、この地域の原子力発電所の安全性と信頼性を最高水準に高めるため、更に努力を続ける事としている。

2. 会員

商業用の原子炉を運転するすべての原子力発電所（世界43の国と地域、430以上の発電用原子炉）が会員であり、東京センターの会員は、中国核工業集团公司、韓国水力原子力発電株式会社、インド原子力公社、パキスタン原子力委員会、台湾電力会社と日本の電力会社である。世界WANO理事会（議長 ウィリアム・カバナー前プログレスエネルギー社最高責任者）の下に東京センター理事会（議長 武黒東京電力副社長）を構成。

3. 東京センターの課題

- ・ 既設発電所に加え、新・増設される原子力発電所の安全性、信頼性の確保。
- ・ インド、パキスタンの発電所へは、日本の技術者がアクセスできるが、インド、パキスタンの技術者は日本の原子力発電所にはアクセスできない。
- ・ インド、パキスタンからは、本件について早急な改善が求められている。